

知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会

第8回 策定協議会議事録<要旨>

日時：平成20年2月18日（月）13：30～15：00

開催場所：知立市役所 3階 第2・3会議室

出席者：委員8名（欠席者5名）、オブザーバー2名（欠席者2名）、事務局5名

<議事次第>

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告事項
 - 1) 第7回策定協議会議事録の確認
4. 協議事項
 - 1) 協議会意見に対する対応
 - 2) ユニバーサルデザインに関する計画の整理
 - 3) ユニバーサルデザインガイドライン案の検討
 - 4) UD講演会と商品展示会について
5. その他
6. 閉会

<協議事項概要>

◆1) 協議会意見に対する対応

事務局：資料2に協議会意見に対する対応の表を用意した。意見、訂正等あれば連絡を。

◆2) ユニバーサルデザインに関する計画の整理

事務局：資料3は計画の整理について。名称を基本計画に変更し、マスタープランとする。ユニバーサルデザインガイドラインで普及と啓発の具体的な指針を示し、来年度策定予定の知立市ユニバーサルデザイン推進計画及び重点整備地区整備計画で具体的な整備計画を示す。

事務局：補足、推進計画の名称では全部を網羅することになるが、実際の中身は基本計画のため。

高木委員：推進計画と重点整備地区整備計画に分かれると、道路の引き方等まで意見をだせるのか。

事務局：仮換地が既に決まっているので駅前広場や駅前公園、道路幅員等の計画について骨組み変更は厳しい。歩道や中央分離帯等の構造について議論をお願いしたい。

高木委員：金額の大きい話なので市民に分かるようにして欲しい。資料3をみると基本計画に随時見直すという文面がある。よく入れてくれたと思う。随時よろしくをお願いしたい。

田中委員：ユニバーサルデザインについての重点整備計画として読んでもらう。

高木委員：二つ並んでいたのが重点地区整備に参加できるように思えた。

田中委員：用地買収が進んでいるところの幅員などに踏み込んでいくのは難しい。しかし、2車線道路にするのか4車線道路にするのかという事は話していける。

◆3) ユニバーサルデザインガイドライン案の検討

事務局：ガイドラインは2部構成、資料4が「1部」、資料5が「2部」。チェックリストが難しいという意見もあったが専門の方には細かい方がいいので本編につけるものは細かく。一般向けには概要版を用意する。UD導入のプロセスはガイドラインと重点整備地区整備計画で検証し、推進計画でまとめる。来年度、新規の建物を対象にチェックリストを使用のタイミングも含めて試行したい。今後は障害の害を平仮名にする。三重県と岐阜県では平仮名で決定した。漢字にすると少しでも差別感を受ける人がいるならやめるという話、庁内作業部会でもそういった話になった。チェックリストの図は人にやさしい街づくり推進計画の図を引用。値の違っている所は訂正。図のないところは写真を入れる。写真は出来る限り知立市内の写

真を使用。項目の右側には条文を入れる。推進計画策定時に確認と修正を行う。ワークグループからの項目変更は現状では無いが、庁内作業部会の前回の意見募集の〆切が今日まで。○と△について、市の建物は○と△の両方を行う。民間では○は義務だが、△は推奨とする。

事務局：P20のチェックリストの構成の見本に△の項目を追加する。

事務局：新たに出来るものだけでなく改修時や、改修を要望するものにも使用する事もできる。

高木委員：1-22に客室の項目があるが、客室の設置も必要になってくるのか。

事務局：客室を作る場合に使用する項目。

高木委員：P39のイラストは傾斜がわからないので写真の方が良いと思う。

岩元委員：製造会社の手順書みたいに見える。

事務局：現場では使っていないので使ったときにどのような問題がでるか確認が必要。

事務局：細かすぎるので項目が減る可能性もある。細かいことは啓発になる。

田中委員：引き戸で指を挟まないよう最後まで閉じないものがある。特定の部署で蓄積できる良い。

五味委員：リフト車でも止められる駐車場があると良い。

事務局：案とチェックリストは今月中に御意見を。FAX、メール、電話、何でも好きな方法で。

事務局：頭から見ただけでなく後ろからでもいい。得意なところを見ていただけるとありがたい。

事務局：サインも見直したい。表示系の統一のため、サインのガイドラインも作った方がよい。

宮川委員：自転車について今は車道と自転車道、歩道を分離するのが一番いいと国がいつている。

事務局：自転車道を設置するクラスの道路が少ないのでモデル地区の状況を見て来年度に考えていく。

宮川委員：通行帯が1.5mあれば専用道なら出来る。2mが望ましい。植栽の位置をどうにかすれば。

田中委員：自動車の停車帯のつもりで1.5m取った、2mとれば通行帯になるのか。

宮川委員：物理的に分けて自転車専用道とすれば相互通行、そうでなければ車道扱いで一方通行となる。

宮川委員：小針線が基本幅員16m、計画している幹線道路は21mになる。

事務局：自転車が多いところでは自転車道が作れるとよい。16mでは厳しいが21mならできる。

田中委員：今回の計画で中心部に幅員30mの道路を作るが車道は2車線、歩道は6mくらいになる。

歩道を広くすれば自転車と歩行者を一緒にしてもいいのかどうか。

宮川委員：自転車道と歩道が一番いい。次に自転車通行帯。最後に自転車歩行道。

田中委員：電動車いすは歩行者なのか。

宮川委員：電動車いすは歩行者、大きさで決まっている。かごなどをつけて長さが変わると車両になる。

高木委員：お年寄りがよく側溝にはまっている。

宮川委員：電動車いすはわずかな傾斜で倒れる。相当擦りつけをゆるやかにしないとイケない。

◆4) UD講演会と商品展示会について

事務局：3/21に中央公民館で行う。基調講演会を曾田先生と中先生の2名に行ってもらう。シンポジウムは両先生と部長がスピーカー、野崎会長がコーディネーター。UD展示は10時頃から開始予定。福祉車両の乗車体験、商品展示、パネル展示、ガイドラインの概要パネルの設置を行う。パネルは英語やポルトガル語も用意し、御意見を頂くスペースも設置する。広報には3/1号に掲載。運営を手伝って下さる方は柴田の方へ。大会議室は80名位入れる。手話通訳も行えるよう検討中。協議会委員の任期は2008/12/15まで、来年度もよろしくお願ひします。

<閉会>

事務局：これをもって知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会を閉会する。